

## ホームルーム活動

### <担任からのHRメッセージ記録>

宮本 玄輝  
Genki MIYAMOTO

高校入学を楽しみに待っていた生徒たちを襲った新型コロナウイルス。5月下旬に登校が許されたものの、分散登校、午前中だけの短縮授業、学校行事の中止。その後、緩やかに日常を取り戻しつつあるも、クラブ活動も制限の中でやらざるを得ない状況が続く。

担任の私は、子供たちの不憫な学校生活を思うと、申し訳ない気持ちでいっぱいである。彼らのやるせない気持ちを思うと、すまないという気持ちでいっぱいである。もちろん、こればかりは誰のせいでもないのだが。

自分にできることは何なのか。自分の無力さを、これほど情けなく思ったことはない。そんな中、一つの結論を出した。コロナ禍の今だからこそ、毎日、子供たちにメッセージを届けよう。自分にはそんな力がないことは当の本人が一番分かっている。そんな時、自分を奮い立たせる神の声が聞こえた。

そんな折、クラスTシャツを作ることになった。年によっては私の似顔絵を描いてくれる。これほど教師冥利に尽きることはない。しかし、今年はみんなの思いを込めてメッセージを刻もうと子供たちに提案した。“KEEP YOUR HEAD UP”（前を向いていこう！下を向いて諦めたら終わりだ！くよくよしていても何も始まらない！）

以下は、この一年間、担任としてもがき続けたホームルーム記録である。正直、生徒のリアクションがない時は落ち込んだりもした。連絡事項だけで終わらせてもいいのかなと思ったりもした。しかし、何とか踏ん張れたのは子供たちのひたむきさだった。苦しい時こそ伴走者でありたい。初心に立ち返らせてくれたのは生徒たちだった。

周りから笑われてもいい。馬鹿にされてもいい。自分には伝えたい思いがある。伝えたいメッセージがある。

今日もクラスTシャツを着て、朝のホームルームに向かう自分がいた。

## 1 学期

### ○5月28日（初日登校日／全員）

- ・ Sky is the limit.
- ・ ENJOY。Endeavor / Next one / Just do it / On & Off / Yoke
- ・ マスクは誰のために着ける？→コロナ時代から学ぶ教訓→周りの人を思いやる。

### ○6月1日（入学式／全員）

- ・ ENJOYのN。今週から2週間授業で、6月16日から中間考査。先を見据える。
- ・ ENJOYのJ。上履きの記名。
- ・ スポンジになれ。すべてを成長の糧に！

### ○6月2日（奇数登校日）

- ・ ENJOYのE。暗唱例文、ユメタン、Vintage。スポーツも同じ。
- ・ ホウレン草。報告。連絡。相談。

### ○6月3日（偶数登校日）

- ・ ENJOYのE。暗唱例文、ユメタン、Vintage。スポーツも同じ。
- ・ ホウレン草。報告。連絡。相談。

### ○6月4日（奇数登校日）

- ・ ENJOYのO。切り替え。メリハリ。けじめ。
- ・ ENJOYのY。こんな時代だからこそ、絆。共に乗り越えよう！

### ○6月5日（偶数登校日）

- ・ ENJOYのO。切り替え。メリハリ。けじめ。
- ・ ENJOYのY。こんな時代だからこそ、絆。共に乗り越えよう！
- ・ 花の咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。

### ○6月6日（奇数登校日）

- ・ 花の咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。

### ○6月9日（偶数登校日）

- ・ Keep your head up.  
前を向いていこう！下を向いて諦めたら終わりだ！  
くよくよしていても何も始まらない！

○6月10日（奇数登校日）

- ・ Keep your head up.  
前を向いていこう！下を向いて諦めたら終わりだ！  
くよくよしていても何も始まらない！

○6月11日（偶数登校日）

- ・ 超有名進学校の校長の教えはただ1つ。  
人のせいにするな！ 周りのせいにするな！ 環境のせいにするな！  
—すべては自分次第—

○6月12日（奇数登校日）

- ・ 超有名進学校の校長の教えはただ1つ。  
人のせいにするな！ 周りのせいにするな！ 環境のせいにするな！  
—すべては自分次第—

○6月13日（偶数登校日）

- ・ ボーイスカウトのモットー。備えよ常に。Be prepared.  
(偶然にも小池都知事の座右の銘)

○6月16日（中間考査1日目、奇数クラス）

- ・ ボーイスカウトのモットー。備えよ常に。Be prepared.  
(偶然にも小池都知事の座右の銘)

○6月18日（中間考査3日目、全員）

- ・ 信頼は勝ち取るものだ。  
・ ENJOYのJ。夏休みの英検講習、ネット申し込み。

○6月23日（全員登校）

- ・ little by little  
すぐに結果がジャンプアップすることはない。続けていれば、少しずつ、ちょっとずつ、必ず成果は出る。

## ○6月24日（全員登校）

- ・流した汗は嘘をつかない。

Heavenで始まる英語のことわざ。思いつきますか？

この日本語訳が出てくるか？センスが問われる。詳しくは2年生で！

(Heaven helps those who help themselves.)

## ○6月25日（全員登校、教育実習初日）

- ・人間は3つのタイプに分かれる。

①言われた事さえやらない人間 ← 論外

②言われた事しかやらない人間 ← 大半

③言われなくてもやる人間 ← 目指そう！

(自分で気づく人間)

## ○6月26日（全員登校、急遽、美化の日にする）

- ・観察力。

行事予定表には、2日前が美化の日になっているが、この日にずらした。

2日前に美化の日をやらなかった事に気づいていたか？

- ・Plus 4 作戦。この日、やっと生徒自己紹介の時間が取れる。

明日から毎日、話したことのない4人に話しかけ、輪を広げよう！

## ○6月27日（全員登校、午後保護者会）

- ・ENJOY。一度しかない高校生活をエンジョイしよう！

来週からクラブ見学がスタート。

クラブに全員入ろう。青春の正しい過ごし方。自分の居場所。

- ・When life gives you lemons, make lemonade.

テスト形式で発想力を問う。説明は後日。

## ○6月30日（全員登校）

- ・Never say never.

- ・私の職業は青春請負人。

ガンバレ部活。青春万歳。この時期を逃すとなかなか入りづらい。

## ○7月1日（全員登校、放送全校朝礼）

- ・校長先生の話を受けて、南ア・ネルソンマンデラ・アパルトヘイト・インビクタス。

○7月4日（全員登校）

- ・ So far, so good. 3年後に、本番前に、胸を張って言えるように日々の鍛錬を！

○7月7日（全員登校）

- ・ 3年後、本番前に、先生が皆を、自分を信じろ！、と送り出せるように。  
やっぴこなかつた人間に、自分を信じろ！とは言えない。

○7月11日（全員登校、クラスLHR、クラス親睦会、学年集会）

- ・ 学校は社会に出るまでの準備期間。  
集団行動を学ぶ場。  
集団行動で大事な事は2つある。  
①時間を守る。  
（例）集合時間（登校時間）。締切期限。  
②やらなければいけない仕事は皆で分担。自分が当番の時は責任を持ってキッチリと！  
（例）日直。掃除。
- ・ ニュースの記事。熊本豪雨災害。  
地元の高校生が立ち上がり、国宝神社修復のボランティア。
- ・ Keep it real.
- ・ Chemistry 45 + 1

○7月15日（全員登校）

- ・ When life gives you lemons, make lemonade.  
ピンチをチャンスに！

○7月17日（全員登校）

- ・ 学ぶとは誠実を胸に刻むこと。

○8月1日（全員登校）

- ・ Better late than never. クラブ入部、まだ間に合うぞ！

## ○8月8日（終業式、全員登校）

- ・ CLEMENTIA（学年通信のタイトル）

国学院は神道の学校。日本でONE & ONLYな学校。（正確には皇学館がある）

神道は、八百万の神（アメニズム）、多神教。

すべてを受け入れる・リスペクトする。他者を認める。

多様性（Diversity）の時代。

トランプ政権による分断。Black Lives Matterに象徴される人種差別。

今こそ、神道の精神が見直されるべき。

- ・ 体調管理（コロナ対策・熱中症対策）。生活のリズムをくずさない。

**2学期**

## ○9月5日（全員登校）

- ・ 何事も自分で深く掘り下げることが大事。

教わったことを、さらに自分でDigしよう！

学生時代は、周りからKING OF DIGGINGと呼ばれていた。（笑）

## ○9月10日（全員登校）

- ・ Don't ever be satisfied. 今の自分に満足したら終わりだよ！

授業で受動態、be satisfied withを扱ったのに関連して。

## ○9月24日（全員登校）

- ・ No pains, no gains.

先日配布した進路通信に載っていた言葉でもあるので覚えているかも兼ねて！

## ○9月25日（全員登校）

- ・ Where there is a will, there is a way.（偶然にも菅首相の座右の銘）

## ○10月8日（全員登校）

- ・ Think different. <スティーブ・ジョブズ>

文法的に正しくはdifferently。

あえてlyをつけなかった意図は？そこに込められたメッセージとは？

“常識を超えろ”

○10月20日（全員登校）

- ・ Are you smart enough to be stupid?  
授業で enough to 構文を扱ったのに関連して。

○10月22日（全員登校）

- ・ 電車の優先席には座らない。空いていても座らない。  
夕方、大きなスポーツバッグを持って、部活帰りの高校生が優先席に座っていることがある。日頃、体を鍛えるトレーニングを頑張っているのに、練習が終わったら疲れて優先席に座るのでは本末転倒である。何のために体を鍛えているのか？情けない！

○10月27日（全員登校）

- ・ 今日読書の日。店主の心温まるストーリーを紹介。  
店の前のウィンドウに飾られた本。毎日、その本を見に来る少女がいた。貧しい家庭のため、その本を買うことができない。毎日通う少女に気づいた店主は、毎日1ページずつめくることにした。

○10月29日（全員登校）

- ・ Creative と Flexible。2つのキーワード。  
①創造力。Creativeな人間に！  
それにはまず土台作り。幅広い知識や様々な経験が必要。失敗も成長の糧。  
②フレキシブルさが大事。

○11月5日（全員登校）

- ・ “人生に仮定法はない” 英文法の仮定法にかけて。  
“あの時、もっと頑張っていたら。。。” いくら後悔しても時計の針は戻せない。

○11月7日（全員登校）

- ・ A friend in need is a friend indeed.  
まさかの時の友こそ真の友。

○11月10日（全員登校）

- ・ 情けは人の為ならず。  
本当の意味を知っていますか？

## ○11月11日（全員登校）

- ・よく、主語を省略すると言われるが、主語を省いても応対できる素早い反応力！

## ○11月13日（全員登校）

- ・希望に起き、努力に生き、感謝に眠る。  
特に“感謝”は人生の基本。  
人間は決して一人では生きていけない。  
感謝の心を持って謙虚に生きなければいけない。

## ○11月14日（全員登校）

- ・イチローさんの名言。イチロー杯の大会会長として、少年少女・保護者へ最後のメッセージ。テーマは自分自身を律し成長へつなげることだった。  
「教えてくれる人たち、先生たちは、なかなか厳しく言うのが難しいらしい。先生よりも生徒の方が力加減でいうと強くなってしまっているような状況があるみたい。このことを僕は今、心配している。『どうやって教育するんだろう』とよく考えることがあります。」  
「自分には厳しい先生がいた。その教えが今の糧になっている。しかし、今は厳しく教えるのが難しい時代。自分で自分のことを教育しないといけない時代に入ってきた。そこで自分で自分自身を切り開いてほしいと思います。今を生きているみんなには、それが大切なことと覚えておいてほしい。」

## ○11月19日（全員登校）

- ・Keep the faith. \*最終進路調査用紙の配布のタイミングに合わせて。  
信じた道を突き進め！  
行った先で、間違っていたら、全速力で引き返せばいい！  
それができるのが、若さの特権だ！  
進路選択／文理選択も同じ。  
色々と調べ、周りのアドバイスを聞き、最後は自分が信じた道を突き進め！  
その代わり、言い訳はできない！

○12月19日（終業式、全員登校）

- ・ ONE LOVE ONE HEART ONE WORLD

嵐（ONE LOVEという曲があります）が年内で活動休止することも兼ねて（笑）。

- ・ 短所を克服することも大事だが、長所を伸ばそう！

苦手科目を克服することも大事だが、得意科目（自分の武器）に磨きをかけよう！

得意科目と呼べるものがまだない人は、この勉強だけは毎日コツコツ頑張っていると言えるものを作ろう！

### 3学期

○1月12日（始業式、全員登校）

- ・ 新年を迎えて初心に立ち返る意味を込めて、“KEEP YOUR HEAD UP”。
- ・  $1 \times 1$  も 1 だけど、 $-1 \times -1$  も 1。人生、遠回りした方が楽しいぞ！

○1月16日（全員登校）

- ・ 今日には大学入学共通テストの当日。

受験勉強は今後の人生で役に立つのか？

確かに、古文単語、歴史年号、微分積分など、あまり使わないかもしれない。

しかし、自分で決めた目標に向かって計画を立てる。努力を続ける。投げ出さない。壁にぶつかっても諦めない。この経験で得た人間力は、社会に出てから必ず求められる。

○1月21日（全員登校）

- ・ It is no use crying over spilt milk.（覆水盆に返らず）  
授業で扱った動名詞の熟語を兼ねて。

○1月28日（全員登校）

- ・ お互いにリスペクトの気持ちを持って接することが大事。

相手の良いところ（長所）を見てあげる。年齢関係なく、自分にはない良さを必ず持っている。

○1月29日（全員登校）

- ・ 國學院大学の文学塾開講のお知らせを兼ねて。

好奇心を持つことが大事。自分の殻に閉じこもってはダメ。自分のこれからを決めるきっかけになるかもしれない。

## ○2月13日（全員登校）

- ・人は誰のために働くのか？ <自分のため？家族のため？ 考えてみよう！>

## ○2月20日（全員登校）

- ・実るほど頭を垂れる稲穂かな。

## ○3月11日（全員登校）

- ・東日本大震災から10年。机や教科書、すべてが流され、勉強したくてもできない状況が続いた。何不自由なく暮らす我々は、いかに甘えているか！

## ○3月29日（終業式、全員登校）

- ・学ぶとは誠実を胸に刻むこと。教えるとは共に希望を語ること。  
みんなの夢を聞かせてください！



## 1年8組クラス目標 E N J O Y

～一度しかない高校生活をエンジョイしよう！～

**Endeavor:** 継続的な努力

**Next one:** 常に先を、次を見据える

**Just do it:** 今できる事は今やる

**On & Off:** メリハリをつける

**Yoke:** 絆～ クラス全員が一つになる  
よう団結する